

# 協働のまちづくりに向けて



## お楽しみ一座

代表 山部 公子さん

海田町ボランティアお楽しみ一座は、十一年前に産声をあげました。設立当時お客様にまず楽しんで頂いて、座員も楽しむという気持ちを込めて、「お楽しみ一座」と名付けたそうです。

今は三代目座長として頑張っています。座員は十二名で、平均年齢六十六歳位かなと思います。テーマソングを社会福祉協議会職員の方で作っていただき、オープニングではいつも全員で歌っています。演目は手品、踊り、民謡、腹話術、南京玉すだれ、皿回し、ハーモニカ、フラダンスなど、お客様と一緒に歌ったり、踊ったりする参加型を取り入れております。座員は仕事を持っている人、役員をしている人とさまざまですが、自分の演目の練習に熱心に励んでいます。

お客様に涙ぐんで拍手を頂くと、やってよかつたなと座員一同感謝の気持ちでいっぱいです。福祉センターを起点に自治会、いきいきサロン、老人施設など、声がかかれば喜んで出前をさせていただきます。どうぞよろしく願います。



いつでも出前をします



## 皆さまから寄せられたお便り



- (クイズの答えは) 私が小さい頃に妹とよく遊んでいたすべり台です。なつかしいです。
- 運動不足解消のため、仕事終わりに河川敷をよく歩くのですが、街灯が少なく真っ暗なところもあり、少し怖いときがあります。街灯を増やしてほしいです。
- 海田町の町内放送が聞こえないので、聞こえる場所に設置してほしいです。

- 学校図書館の(一般)質問がありましたが、図書館は楽しい思い出として残っています。今の子どもたちにも温かな場所であってほしいと願っています。
- 幸保育所の前にある道路の車の交通量が増えて、園児が横断する時、長く道路脇で待って横断しているのを見かけて、いつも「危ないな〜!」と思っています。子どもたちが押せるボタンがある信号をつけてあげたらいいなとも思っています。



※たくさんのお便り、ありがとうございました。これからもどんどんお寄せください。待っています。